

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000092
事業所名	グループホームさち

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 自治会に加入し、地域のお祭りや行事に参加している。利用者参加型で開設2年目よりホーム庭先で開催される「さち市」は地域の農産物や利用者の手づくり作品の販売を通じて地域に定着し交流が深まっている。けやきワークス利用者の職場体験の受け入れ、ボランティアとして中京・同朋大学学生に行事時に、又定期的にオカリナ、ウクレレ、そば打ちの方々の訪問、そのほか掃除や修理、傾聴、家事を地域や社協、家族との関係を上手く活用して手伝ってもらい、職員が利用者として少しでも多く関わられるよう努めている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 家族・区長・民生委員・地域包括支援センター職員の参加を得て2か月ごとに開催している。10月には同自治区内の特養と合同開催し、他事業所の取組みや意見交換が出来たので今後も継続したいと考えている。ホームの運営や行事案内、日常生活について報告し、家族は疑問点の解決やホームの方針の理解に繋がり、区長や地域包括から地域情報を得る機会にもなっており、双方に有意義な話し合いが行われている。詳細にわたる報告文書も作成されている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 介護相談員を受け入れ、利用者や家族の思いや意向、悩み等の報告を受けたり、意見交換で協力関係が構築されており、サービス向上に活かしている。内容は行政に報告されている。包括と協力して地域の徘徊模擬訓練を実施したり、管理者は各種イベントで専門資格を活かして講師を務めることもあり、職員は社会福祉協議会開催の研修等に参加し、各種機関と連携体制が出来ている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 家族の意見や要望は面会時や運営推進会議参加時に聞き取り、日報や日常記録に記載し職員間で共有している。内容は会議やケアプラン作成時に話し合いや検討を重ね運営やサービス向上に反映している。利用者の入れ替わりが多く馴染みの関係が希薄になったことを考慮し、家族が気軽にホームを訪問できるような雰囲気作りに努め、面会、行事参加や外出支援の際に家族同士の交流の輪が広がっている。毎月暮らしぶりが分かる写真入りの「さちだより」、3か月ごとの季刊誌「クローバー」を発行している。	評価	○
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	